

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 1 年度)

施設の名称	東大阪市立郷土博物館	指定期間	30 年度～	2 年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	社会教育部文化財課	連絡先	072-984-6341	
設置目的	郷土の文化的遺産を公共の利用に供し、市民の文化の向上に資するため設置するもの。			
施設内容・業務内容等	東大阪市立郷土博物館の施設は、小展示室、大展示室、ロビー、事務室、収蔵庫等がある。併設施設として、山畑古墳群がある。指定管理者には施設の維持管理と展示業務や各種体験事業等活用業務を委託している。			
指定管理者	公益財団法人 東大阪市文化振興協会	連絡先	06-6736-3660	
人員体制	正規職員	4 人	パート・アルバイト	0 人
			その他	0 人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	279	282	282	282	282
指定管理委託料(千円)	33,235	28,503	25,445	25,436	25,375
利用状況指標	1 入館者数(人)	5,436	5,212	5,334	補足説明
	2 出前等館外参加者	464	355	343	補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	登録博物館としての設置目的を理解しており、定期的に企画展や特別展が実施されている。避難訓練については、一人歩行が困難な方の避難訓練の実施について検討するとともに、災害時における地域との連携についても検討してほしい。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	館内の清掃等は適切に行われており、清潔な施設として保たれている。金庫等の管理・防犯対策について、必要な措置を講じること。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	他施設では市と協議の上、外国人向けのパンフレットや案内看板を作成している。また近年、多言語化を前提としたコンテンツ制作に対する国庫補助事業があるが、施設の多言語化が進んでいないため、補助事業者となることが困難である。こういった他施設での取り組みを参考に、外国人向けのサービスの実施について検討する必要がある。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	利用者アンケートは実施されている。利用者アンケート等を引き続き利用し、市民の声が反映されるなど管理運営に努めてほしい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	施設の利用者数が目標の水準に達していない。他市の同種施設の取り組みを参考に、利用者の増加に資するよう措置を検討すること。また、ボランティアの受け入れについても取り組みを進めてほしい。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	引き続き各種法令や規則に乗っ取った運用を心がけること。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	入館者数を確保するための方策を、他団体の同種施設等を参考に検討すること。鴻池新田会所と連携し、博物館の多言語化についても検討すること。